一般社団法人 日本鍛圧機械工業会からのお知らせ

鍛圧機械
予防・保守保全のおすすめ

JAPAN FORMING MACHINERY ASSOCIATION

保守保全をしないと突然停止して、生産に障害がでる恐れがあります。

定期的な保守保全の実施は、機械の性能を長期間にわたって維持し、
故障の発生を最小限に抑えることができます。

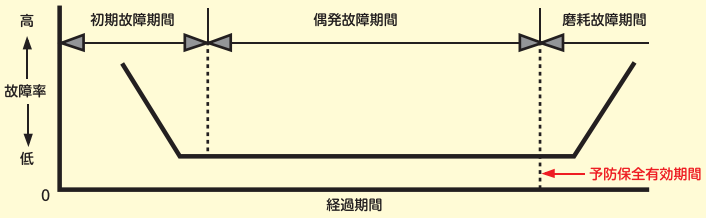
予防・保守保全の原則

電気部品
リレー、スイッチ、モータ、電磁弁、非常停止押しボタン等の電気部品を交換するときは必ずメーカー指定の部品と交換してください。

機械部品
クラッチブレーキ用ライニング、エンコーダ用カップリング、O-リング、V ベルト、潤滑油等を交換するときは必ずメーカー指定の部品と交換してください。

機械寿命の目安「Bathtub Curve(バスタブ曲線)」をご存知ですか?

・法令による規程の「作業開始前の点検」を行い、異常の発見に努め、早期処置を行ってください。
・部品には寿命があります。日常の点検·整備をきちんと行い、予防保全有効期間を把握して機械寿命の延長をはかってください。
・メーカーが寿命の目安として明示している「推奨交換間隔」が切れる前に部品を交換することが重要です。



予防・保守保全の励行が安定した企業運営の礎です。

鍛圧機械の有する機能を最大限に発揮し、高い稼働率を維持するためには、
常に十分な点検・整備を行い、機械の状態監視が必要です。

1D 毎日点検・整備

毎日作業開始前、型交換時に実施
（昼夜連続稼働時は、作業者の交代時を利用して実施）

1W 毎週点検・整備

週毎点検・整備項目に従い実施

1M 毎月点検・整備

月毎点検・整備項目に従い実施

6M 半年点検・整備

半年毎点検・整備項目に従い実施

1Y 1年点検・整備

法令による規程の特定自主検査、
1年毎点検・整備の実施

3~5Y 3~5年総合点検・整備

3~5年に1回総合点検・整備の実施

保守保全実施計画	保守保全の実施	保守保全効果の確認	保守保全計画へのフィードバック
P Plan →	**D** Do →	**C** Check →	**A** Act →
① 実施計画の策定 ・保守保全計画を時系列に作成 ・消耗部品、保守部品は事前に準備 ② 点検項目、判断基準のチェックリストを作成し、点検の漏れ、忘れの防止	① チェックリストに基づき、検査・点検の実施 ② 交換・整備前の現象、交換部品の状態記録 ③ P(Plan)に基づき、寿命部品を交換し整備	① 実施前と実施後の改善効果の確認 ② 不具合率、ダウンタイム等の指標による改善活動	① P、D、C内容を検証し、改善課題を明確化 ② 保守保全内容の改善策を保守保全計画へフィードバック

〈企画・発行〉

一般社団法人 日本鍛圧機械工業会

〒105-0011　東京都港区芝公園３丁目５番８号
機械振興会館　308号

TEL：03-3432-4579
FAX：03-3432-4804

http://www.j-fma.or.jp

〈お問い合せは〉